



《假眠》1974年 カンヴァス、油彩

2014年度第Ⅲ期収蔵品展 開館10周年

宮本三郎の仕事 1960's - 1970's

絢爛な色彩の
神話世界へ

2014年12月20日(土) — 2015年3月22日(日)

●開館時間●10:00～18:00(最終入館は17:30まで)●休館日●毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館し、翌日休館)年末年始(12月29日～1月3日)●観覧料●一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上／中小生100円(80円)※障害者の方は100円(80円)。ただし障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者(当該障害者1名につき、1名に限る)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。※()内は20名以上の団体料金。※小・中学生は土、日、祝・休日は無料。●交通案内●東急大井町線・東横線「自由が丘」駅より徒歩7分●東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分●東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-38-13

TEL.03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>



《芥子と立藤》1967年 カンヴァス、油彩

洋画家・宮本三郎(1905-1974)は、抽象絵画からの影響が垣間見える1950年代後半の作品を経て、1960年代に入ると、ネオンが輝く東京の夜景や、女優、踊り子、バレリーナといった都市の中で生きる人たちの姿を集中的に描きました。1964年の東京オリンピックでは、国立競技場モザイク壁画の原画制作も担当し、宮本は敗戦後の復興に伴走するように、東京という都市に生じる新たな文化のありさまを表現しました。そして、晩年の宮本がたどり着いた主題は「神話」でした。「裸体を線やボリュームや肌色の美しさばかりでなしに、もっと人間的な、恋情や慕情の対象としての、あの素晴らしさで描き度いとは前々からの悲願でした」と語ったように、宮本は生涯のテーマである人物画を展開させるため、新たな主題に踏み切り、あざやかな色彩による作品群を誕生させたのです。絶筆《假眠》(1974年)の色彩と人体がとけあうかのような描写からは、宮本最晩年の到達点を感じることができます。

絢爛な色彩の



《ヴィーナスの粧い》1971年 カンヴァス、油彩

宮本三郎の仕事 1960's-1970's

宮本の画業を顧みると、ひとつの画風に飽き足らず、変転する時代に呼応しながら、積極的に作風の展開を試みていることがわかります。ただ、その展開の裏に一貫していたのは、宮本が夫人に「絵画は人間を扱うことから次第に遠ざかってきている。文学はいまでも人間を描き続けているんだ。人間との対決は絵画でも永遠のことで」と語っているように、人間を表現し続けることにほかなりませんでした。宮本三郎の絵画が絢爛な色彩の神話世界にいたる道程と、そこに生きいきと描かれた人間像の数々をご覧ください。

神話世界へ

◎ 関連企画

① 講演会〈作り手から見た宮本三郎〉第8回

「神話を描くということ」(仮称)

講師 ● 天野喜孝(アーティスト)

日時 ● 2015年1月24日(土) 14時~15時30分

定員 ● 50名

参加費 ● 500円

場所 ● 宮本三郎記念美術館・1階講座室

③ 実技講座〈花〉

「水墨で花を描く」

講師 ● 岩田壮平(日本画家)

日時 ● 2015年3月1日(日) 10時30分~16時

定員 ● 16名(中学生以上)

参加費 ● 3,500円(画材費込)

場所 ● 宮本三郎記念美術館・1階講座室

② デッサン講座〈自画像〉

「拝啓、わたしが形になる時」

講師 ● 梅津庸一(美術家)

日時 ● 2014年2月15日(日) 10時30分~16時

定員 ● 16名(中学生以上)

参加費 ● 3,000円(画材費込)

場所 ● 宮本三郎記念美術館・1階講座室

④ ギャラリートーク

日時 ● 2014年12月20日(土)、2015年1月10日(土)、2月21日(土)、3月14日(土)

各日14時~14時30分

講師 ● 展覧会担当学芸員

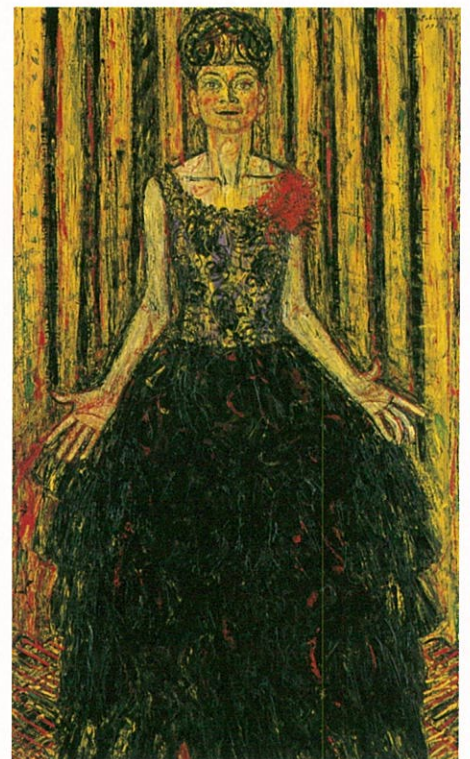
参加費 ● 入館料のみ

場所 ● 宮本三郎記念美術館

2階展示室



《自画像》制作年不詳 紙、コンテ



《歌い手》1964年 カンヴァス、油彩

- ①②③=事前申込制(先着)、12月25日より申込受付開始。
申込方法はホームページに12月中旬掲載予定。
④=申込不要。開催日に直接美術館へお越しください。

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL 03-5483-3836

http://www.miyamotosaburo-annex.jp

交通案内 東急大井町線・東横線「自由が丘」駅より徒歩7分
東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分
東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分



©宮本和義



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL 03-3415-6011 (代表)

展覧会のご案内: TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

http://www.setagayaartmuseum.or.jp/

※詳細はホームページなどでご確認ください。

同時開催企画展

- 難波田史男の世界~イメージの冒険~
2014年12月6日(土)~2015年2月8日(日)
- 東宝スタジオ展 映画=創造の現場
2015年2月21日(土)~4月19日(日)

同時開催ミュージアム コレクション

- 塩田コレクション 北大路魯山人展
2014年9月28日(日)~12月21日(日)
- 世田谷に住んだ東宝スタジオゆかりの作家たち
2015年1月4日(日)~4月12日(日)



©宮本和義

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1

TEL 03-5450-9581 http://www.mukaijunkichi-annex.jp/

向井潤吉と文学—連載小説の挿絵と装幀を中心に

2014年12月20日(土)~2015年3月22日(日)



©宮本和義

世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17

TEL 03-3416-1202 http://www.kiyokawataiji-annex.jp/

清川泰次 一線をめぐって

2014年12月20日(土)~2015年3月22日(日)